

奈良国立文化財研究所要項

I 研究事業概況

公開講演・現地説明会

- 1970年5月30日 第27回公開講演会 於調査部
「デンマーク・イギリスの遺跡とその保存整備」 田中 琢。「近畿地方を中心とする民家研究の現状」 宮沢智士。
- 1970年9月12日 於小治田宮跡推定地調査現場 木下正史。
- 1970年9月26日 於平城宮推定第1次内裏地域調査現場 宮本長二郎。
- 1970年10月31日・11月7日 第28回公開講演会 於本所 文化財保護法施行20周年記念一仏教文化史研究一 (57ページ)

外国出張

- 韓国古建築の調査研究ならびにその保護事業に対する意見の交換 1970年9月20日～9月27日 伊藤延男 韓国。
- クンヤーン朝文化を中心とする中央アジアの考古学的調査 1970年9月4日～11月7日 牛川喜幸 インド・パキスタン・アフガニスタン。
- 考古遺跡の調査研究ならびにその保護事業に対する意見交換 1971年2月17日～3月6日 菅原正明 パキスタン・インド・タイ。

海外学者招致

韓国文化公報部文化財管理局文化財研究室 金東賢工学士、日本学術振興会外国人奨励研究員に採用され、滞日 1970年12月16日～1971年12月15日本所が受入れ機関となり、主として建造物研究室において指導した。

平城宮跡発掘調査指導委員会

- 1970年9月18日 於調査部 現地視察、藤原宮跡・飛鳥地方、平城宮跡第69次調査現場。
- 1971年2月23日 於調査部 45年度後半の調査結果、46年度の計画について指導をうけた。

普及事業

- 平城宮跡覆屋特別公開 1970年4月29日～5月5日 見学者1,365名。

- 文化財保護法施行20周年記念平城宮資料館・覆屋特別公開 1970年10月20日～11月8日 見学者14,747名。

- 平城宮跡見学者数

区 分	覆 屋	資料館	計
1970年度	49,805名	13,836名	63,641名
累 計	110,316名	13,836名	124,152名

昭和45年度文部省科学研究費交付金による研究

研究 課 題	種 類	担 当 者	交 付 金
七大寺巡礼私記の研究	総合A	松下隆章 ほか	1,500
平城京の復原的研究	一般A	田中 稔	15,500
新しい遺跡測定法の開発研究	一般A	坪井清足	1,600
中国・朝鮮における建築および庭園の基礎的研究	一般B	伊藤延男	2,800
建造物の経年的変形に関する研究 —とくに木造古建築について—	一般D	牛川喜幸	200
古代における造瓦技術の研究	一般D	河原純之	180
弥生時代の木製品について	奨励A	黒崎 直	100
古代鉄製工具の研究	奨励A	佐藤興治	100
吉備出土瓦の研究	奨励A	松下正司	100
科学的方法による産地分析への試み	奨励A	沢田正昭	100
縄文・弥生時代の布	奨励A	小笠原好彦	100
年輪計数表による古建築の年代判定に関する研究	奨励A	藤原武二	200

II 図書および資料 (1970年度末現在)

図書 21,206冊 写真 72,648点

III 施設 (1970年度)

土地 862,950㎡(そのうち平城宮跡856,502㎡)

建 物	春日野 平城 藤原			計
	春日野	平城	藤原	
事 務 所	797	—	155	952
倉庫・収蔵庫	191	2,728	—	2,919
車 庫	20	128	—	148
会 議 室	40	—	—	40
講 義 室	109	—	—	109
写 真 室	86	—	—	86
資 料 館	—	1,943	—	1,943
覆屋・展示棟	—	1,935	—	1,935
そ の 他	200	576	—	776
計	1,443	7,310	155	8,908

Ⅳ 予算 (1970年度)

人件費75,424千円 物件費197,221千円 計272,645千円

V 研究成果刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名	称	担	当	者
昭29	第1冊	仏師運慶の研究	小林	剛	
	第2冊	修学院離宮の復原的研究	森	蘊	
昭30	第3冊	文化史論叢	小林	剛・森	蘊・杉山信三・田中一郎・田中 稔
昭31	第4冊	奈良時代僧房の研究	浅野	清	鈴木嘉吉
昭32	第5冊	飛鳥寺発掘調査報告	浅野	清	杉山信三・坪井清足・鈴木嘉吉
昭33	第6冊	中世庭園文化史	森	蘊	
	第7冊	興福寺食堂発掘調査報告	坪井	清足	鈴木嘉吉
昭34	第8冊	文化史論叢	小林	剛	守田公夫・浜田隆・杉山二郎
	第9冊	川原寺発掘調査報告	杉山	信三	坪井清足・鈴木嘉吉・田中 稔・工藤圭章・田中 琢
昭35	第10冊	平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告	杉山	信三	坪井・鈴木嘉吉・工藤・田中琢・岡田・岩本
昭36	第11冊	院家建築の研究	杉山	信三	
昭37	第12冊	巧匠安阿弥陀仏快慶	小林	剛	
	第13冊	寝殿造系庭園の立地的考察	森	蘊	
	第14冊	「レース」と「金舎利塔」に関する研究	守田	公夫	
	第15冊	平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査	坪井	鈴木嘉吉・田中 稔・工藤・田中 琢・岡田・狩野・河原	
昭38	第16冊	平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査	榎本	坪井・田中稔・工藤・沢村・田中琢・岡田・狩野・河原・岩本	
昭40	第17冊	平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域調査2	榎本	坪井・田中稔・工藤・沢村・田中琢・岡田・狩野・河原	
	第18冊	小堀遠州の作事	森	蘊	
昭42	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家	杉山	信三	
昭44	第20冊	名物製の成立	守田	公夫	

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称	担	当	者
昭29	第1冊	南無阿弥陀仏作善集 (複製)	田沢	坦	
昭30	第2冊	西大寺叢傳伝記集成	小林	剛	
昭38	第3冊	仁和寺史料 寺誌編 1	田中	稔	
昭39	第4冊	俊乘坊重源史料集成	小林	剛	
昭41	第5冊	平城宮木簡 1	田中	稔・田中 琢・狩野・原・横田拓実・鬼頭・加藤 優	
昭42	第6冊	仁和寺史料 寺誌編 2	田中	稔・狩野・加藤 優	
昭44	第5冊	平城宮木簡 1 解説 (別冊)	坪井・守田・田中 稔・田中 琢・狩野・原・横田拓実・工業・鬼頭・加藤優・岩本		
昭45	第6冊	唐招提寺史料 1	田中	稔・加藤 優・永野温子	

Ⅵ 人事移動

(1970年4月1日～1971年3月31日)

4月1日	文化庁記念物課文化財調査官併任解除 調査部主任研究官併任 横山浩一。 研究補佐員採用 西 弘海・天田起雄。 事務補佐員採用 中村葉子・吉田恵美子。 美術工芸研究室長に昇任 平田 寛。	8月1日 文部事務官に配置換え 西田健三。 8月24日 事務補佐員採用 前川重子。 9月1日 技術補佐員採用 渡辺康史。 研究補佐員採用 水野和雄。 9月28日 技能員採用 飯田信男。
5月1日	文部技官に配置換え 西 弘海・天田起雄。文部技官採用 菅原正明。	10月1日 文化庁記念物課文化財調査官に配置換え 田中 琢。考古第2調査室長に配置換え、飛鳥藤原宮跡調査室長併任 河原純之。考古第3調査室長に昇任 八賀晋。考古第2調査室主査任命 佐原真。文部技官に配置換え 渡辺康史。文部技官採用 東野治之。
6月1日	事務補佐員採用 細川純子・仲井武司。	
6月15日	辞職、神奈川県教育委員会に就任 真鍋俊照。	
7月1日	平城宮跡整備管理係長併任 西村縣治。 庶務課に配置換え 石川千恵子。 事務補佐員採用 石田信子。 研究補佐員採用 永野温子・山極用子。	10月18日 事務補佐員採用 中坊ひろ美。 3月31日 辞職、大学セミナーハウスに就任 西村縣治。辞職、福岡県教育委員会に就任 石松好雄。辞職 上岡三佐子・高橋靖子。
7月13日	辞職 仲井武司。	

Ⅶ 組織規定

文部省設置法 抜萃

昭和24年法律第146号
昭和43年6月15日一部改正

第36条 第43条に規定するもののほか、文化庁に次の機関を置く。

国立文化財研究所（前後略）

第41条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行なう機関とする。

2 国立文化財研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東 京 都
奈良国立文化財研究所	奈 良 市

3 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

4 国立文化財研究所及びその支所の内部組織は文部省令で定める。

文部省設置法施行規則 抜萃

昭和28年1月13日文部省令2号、追加昭和43年6月15日文部省令20号、昭和45年4月17日文部省令第11号

第5章 文化庁の附属機関

第4節 国立文化財研究所

第2款 奈良国立文化財研究所

（所 長）

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は所務を掌理する。

（内部組織）

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務課、美術工芸研究室、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部を置く。

（庶務課の事務）

第125条 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

- 1 職員の人事に関する事務を処理すること。
- 2 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。
- 3 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
- 4 経費及び収入の子算、決算その他会計に関する事務を処理すること。

5 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。

6 平城宮跡の造構及び遺物の保全のための警備に関すること。

7 庁内の取締りに関すること。

8 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

（美術工芸研究室等の事務）

第126条 美術工芸研究室においては、絵画、彫刻、工芸品、書跡、その他建物以外の有形文化財及び工芸技術に関する調査研究を行ない、並びにその結果の公表を行なう。

2 建造物研究室においては、建造物に関する調査研究を行ない並びにその結果の公表を行なう

3 歴史研究室においては、考古及び史跡に関する調査研究を行ない、並びにその結果の公表を行なう。

（平城宮跡発掘調査部の7室及び事務）

第127条 平城宮跡発掘調査部に、考古第1調査室、考古第2調査室、考古第3調査室、遺構調査室、計測修景調査室、史料調査室及び飛鳥藤原宮跡調査室を置く。

2 前項の各室（飛鳥藤原宮跡調査室を除く）においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行なう。

3 考古第1調査室、考古第2調査室及び考古第3調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物（木簡を除く）の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

7 飛鳥藤原宮跡調査室においては、飛鳥藤原宮跡の発掘、遺構及び遺物の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

職員

(1971年10月1日現在)

所属	氏名	官職	担当
庶務課	松下隆章	文部技官	所長
	石藤守雄	文部事務官	課長
	寺尾敏明	文部事務官	課長補佐
	広瀬二郎	文部事務官	専門員
	岩本次郎	文部事務官	庶務係長
	坂口義尚	文部事務官	会計係長
	広瀬二郎	文部事務官	平城宮跡整備係長(併任)
	八幡扶桑	文部技官	(併任)
	井上政和	文部事務官	寫真庶務
	西田健三	文部事務官	飛鳥藤原事務所
	加藤建夫	文部事務官	會計
	渡辺康史	文部技官	平城整備管理
	大西肇	文部事務官	會計
	丹飯信次	文部事務官	平城警備
	木原忠雄	文部事務官	平城警備
	森田光治	文部事務官	平城警備
	岡田博元	文部事務官	警備
	中西建夫	文部技官	自動車運転
	飯田信男	文部技官	自動車運転
	宮本宣代	事務補佐員	所長室付
	港悦子	事務補佐員	庶務
	中村葉子	事務補佐員	庶務
	田中みちこ	事務補佐員	庶務
	山下久子	事務補佐員	會計
	福住八重子	事務補佐員	會計
	細川純子	事務補佐員	會計
	中坊ひろ美	事務補佐員	會計
中川かよ子	事務補佐員	図書資料	
森千佳子	事務補佐員	平城庶務	
東田すみ子	事務補佐員	平城會計	
石田信子	事務補佐員	平城図書資料	
梶幸治郎	技能補佐員	平城保安	
石川千恵子	研究補佐員	平城公開	
城本きよの	業務補佐員	平城庁務	
前川重子	事務補佐員	平城整備管理	
美術工芸室	長谷川誠	文部技官	室長
	星山晋也	文部技官	彫刻
	守田公夫	調査員	彫刻
	鈴木嘉吉	文部技官	室長(非常勤)
	牛川喜幸	文部技官	建築(併任)
	藤原武二	文部技官	遺跡庭園(併任)
	細見啓三	文部技官	建築(併任)
	村上詔一	文部技官	建築(併任)
	福田幸子	研究補佐員	資料整理
	福山敏男	調査員	建築(非常勤)
歴史研究室	田中稔	文部技官	室長
	松下正司	文部技官	(併任)
	高島忠平	文部技官	(併任)
	佐藤興治	文部技官	(併任)
	加藤優	文部技官	(併任)
平城宮跡	坪井清足	文部技官	部長
	横山浩一	文部技官	主任(併任)

所属	氏名	官職	担当		
考古第一調査室	横山浩一	文部技官	室長		
	町田章	文部技官	考古		
	佐藤興治	文部技官	考古		
	菅原正明	文部技官	考古		
	西村康直	文部技官	考古		
	黒崎直敏	文部技官	考古		
	山中正昭	文部技官	保存科学		
	沢田正昭	文部技官	専門職員		
	八幡扶桑	文部技官	寫真		
	佃幹雄	文部技官	寫真		
	真木礼子	技術補佐員	寫真		
	山極用子	研究補佐員	資料整理		
	考古第二調査室	河原純之	文部技官	室長	
		佐原真	文部技官	主査	
		高島忠平	文部技官	考古	
小笠原好彦		文部技官	考古		
甲斐忠彦		文部技官	考古		
西弘海		文部技官	考古		
吉田恵二		文部技官	考古		
考古第三調査室		八賀晋	文部技官	室長	
		工藤善通	文部技官	考古	
		松下正司	文部技官	考古	
	阿部義平	文部技官	考古		
	田辺征夫	文部技官	考古		
	岡本東三	文部技官	考古		
	遺構調査室	沢村仁	文部技官	室長	
		細見啓三	文部技官	建築	
		宮本長二郎	文部技官	建築	
		村上詔一	文部技官	建築	
天田起雄		文部技官	建築		
藤村泉		文部技官	建築		
計測修景調査室		牛川喜幸	文部技官	室長	
		藤原武二	文部技官	遺跡庭園	
		伊東大作	文部技官	遺跡庭園	
		田中哲雄	文部技官	遺跡庭園	
	史料調査室	狩野久	文部技官	室長	
		横田拓実	文部技官	歴史	
		鬼頭清明	文部技官	歴史	
		加藤優治	文部技官	歴史	
		飛鳥藤原宮跡調査室	河原純之	文部技官	室長(併任)
			宮沢智士	文部技官	主査
猪熊兼勝			文部技官	考古	
森郁夫			文部技官	考古	
安達厚三			文部技官	考古	
木下正史			文部技官	考古	
稲村孝司	文部技官		考古		
西田康	文部技官		(併任)		
天田弘海	文部技官		(併任)		
石丸起洋	文部技官		(併任)		